

公立学校共済組合 関東中央病院における看護職員負担軽減計画

令和3年4月現在の看護師の勤務状況	
1. 病院規模	一般病床：403床
2. 看護師数	330名
3. 月平均超勤時間	4.42時間
4. 当直回数	平均月4回（一般病棟のみ）

<p>目標</p> <p>当院では、看護師の勤務状況を把握し、各部門（診療部、薬剤部、医療安全、検査、放射線等）の協力体制を整え、さらに各部署の役割分担を周知させ、看護師の定着、業務軽減を努めていく事を目標とする。</p>
---

項目	令和2年度までの取組	令和3年度までの目標	達成手順	達成状況	
				令和2年度	令和3年度
看護部	看護補助者の配置と教育。	病棟の業務量により早番、遅番などの勤務体制づくり 部署間の連携による業務の平均化。 夜間看護補助者（ナースエイド）の配置による患者見守り体制づくり。	患者人数、看護必要度等のデータをもとに看護のニーズに合わせた人員配置・業務内容とする 夜間の患者の安全が保持される	<input type="checkbox"/> 95%	<input type="checkbox"/>
看護部 診療部	専門・認定看護師の業務を整備し、医師への周知と業務分担を図る。	専門看護師・認定看護師の配置により、看護師の教育・業務のサポート体制強化。 専門外来の強化。	毎月専門看護師・認定看護師の業務報告を行うとともに、医師・看護師における活用の推進を図る。	<input type="checkbox"/> 95%	<input type="checkbox"/>
看護部	看護方式PNSの定着。	看護方式PNSの定着と推進。	看護総務委員会における活動 ①PNSマインド研修会開催（2回/年） ②PNS他部署監査の実施	<input type="checkbox"/> 100%	<input type="checkbox"/>
看護部 医事課 薬剤部	入退院支援センターの活用による入院業務の軽減	予定入院患者の入院前情報収集と入院オリエンテーションの実施。 診療内容の理解促進とACPの実施。 アセスメントによる多職種介入（薬剤師、栄養士、MSW）	入院時アセスメントチェックによるリスク患者の把握。 診療に関する患者家族との共通理解。 診療、入院生活に関する不安の軽減。 退院後の生活を見据えた多職種による支援。	<input type="checkbox"/> 90%	<input type="checkbox"/>